

CASBEE[®]広島

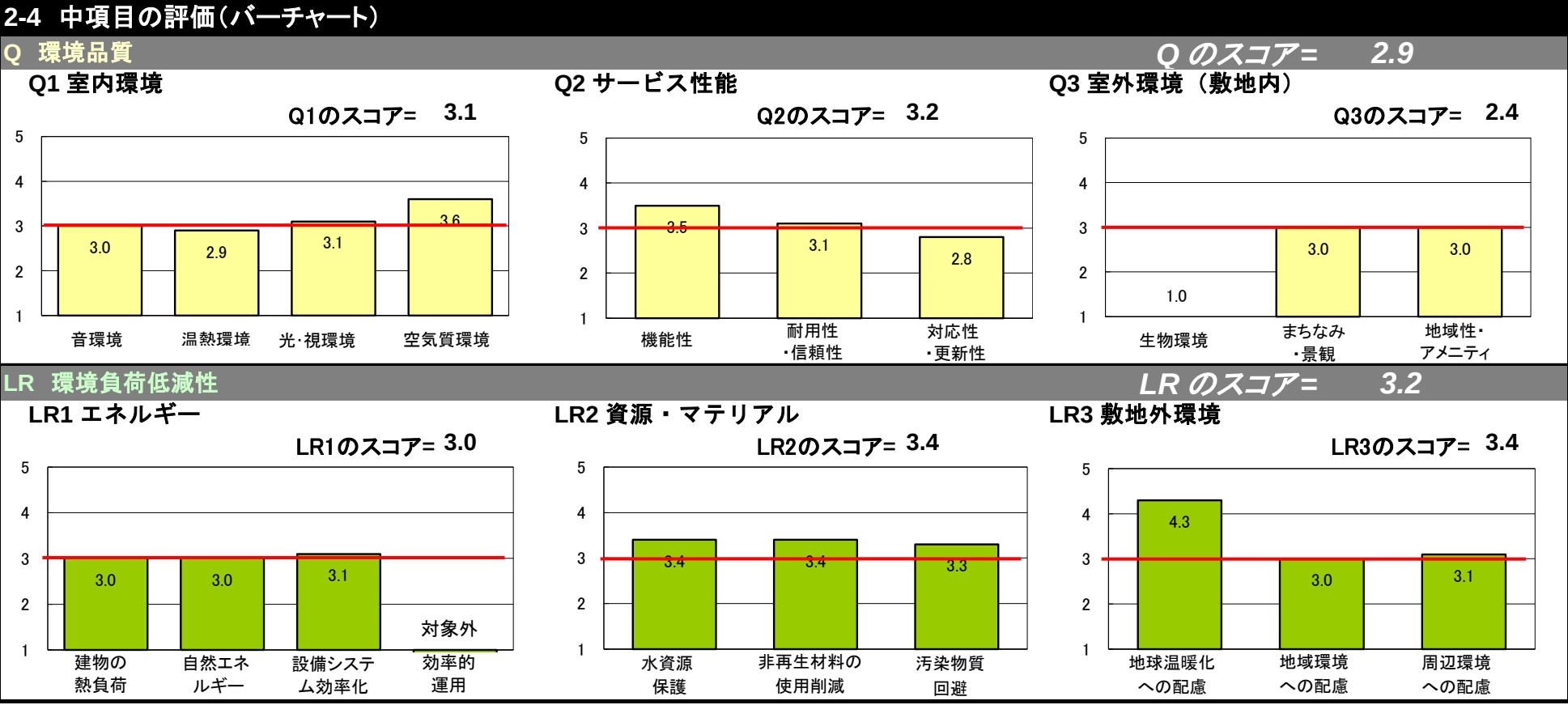
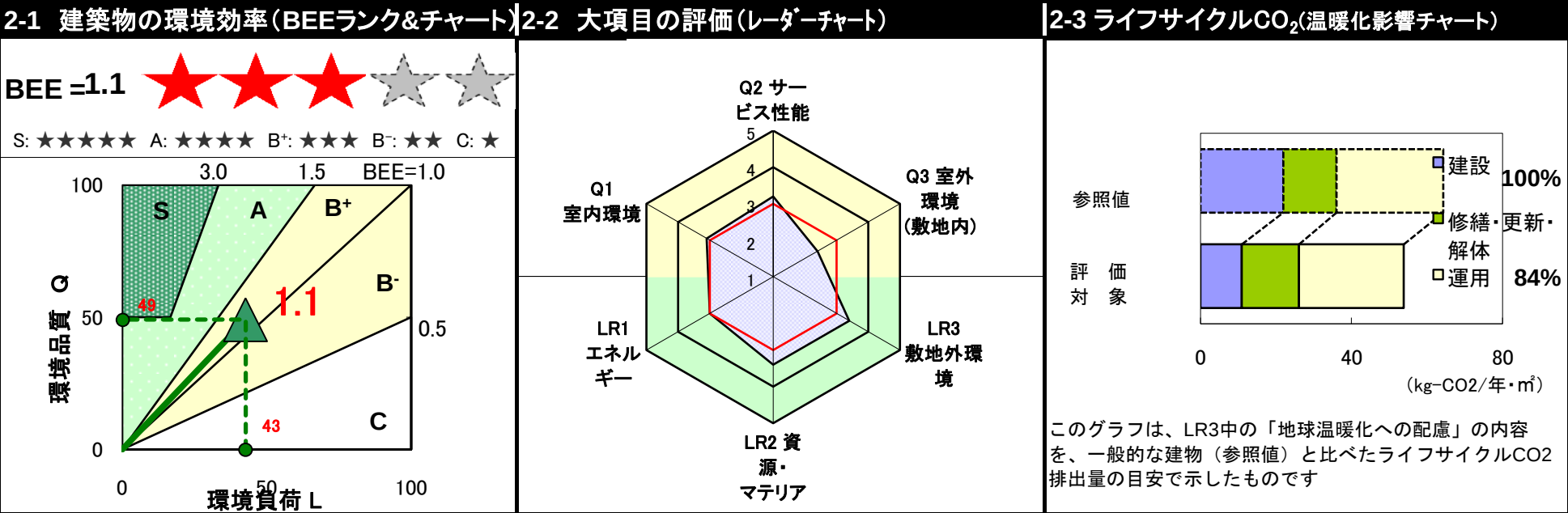
(2010年ver. 1)

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)アルファステイツ古市駅南	階数	地上13F	
建設地	広島県広島市安佐南区古市一丁目1009-1の一部、他4筆	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域+第1種住居地域、準防火地域+指定なし	平均居住人員	192 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2010年9月27日	
敷地面積	1,796 m ²	作成者	山野正晴	
建築面積	525 m ²	確認日		
延床面積	4,225 m ²	確認者		



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.0		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.2	スコア= 1.9	スコア= 3.2
設計の計画段階に配慮した事項	設計の計画段階に配慮した事項	設計の計画段階に配慮した事項
住宅性能省エネ等級3相当とした。自主基準で天井に熱橋補強を実施。/ 外皮に2方向面して、有効な採光・通風を確保。/ 共用部の照明点灯方式にタイマー制御・センサー点灯を採用。給湯器に電気温水器を採用。/ 極力節水用の給水栓を採用。杭コンクリートにリサイクル材（高炉セメント）を採用。内装材にリサイクル材（磁器質タイル・集成材・パーティクルボード）を採用。/ 極力CO ₂ の排出を削減した。	オール電化により燃焼機器を無くし、大気汚染物質を排出させない。極力敷地内緑化に努めた。/ 離合が可能な車路幅を確保した。駐輪駐車スペースを確保するよう努めた。	住宅性能評価劣化対策等級（構造躯体）等級3相当の性能とした。共用部内装仕上げ材は耐用年数が高いものを採用。/ 空配管内に配線・呼び線挿入することで、仕上材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るようにした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される